

Maxar®

N-type Mono Harfcut Cell

Maxar® 次世代を担う太陽電池モジュール 高効率 × 高耐久 × 高品質

2050年のカーボンニュートラルに向けて開発した「Maxar®」は、国際基準に基づいた設計・製造・品質管理を実施。一般住宅や集合住宅、企業の自家消費、メガソーラー等の大型案件に至るまで大小を問わず幅広く導入されています。
厳選した原材料の選定、徹底した品質の管理、安定供給のための生産管理をすることにより、高性能で高品質な製品の安定提供を実現しました。

WS-455MN-182H108

公称最大出力

455W^{※1}

<片面発電>

実効変換効率<JIS基準>
23.3%^{※2}

実効変換効率<J-PEC基準>
25.1%^{※3}



15年間製品保証

出力保証30年リニア



- 外形寸法(mm): L1722×W1134×D30
- アルミフレーム: ブラック
- 質量: 21.0(±0.5)kg

※1 公称最大出力の数値は、JIS C8918で規定するAM1.5、放射照度1,000W/m²、モジュール温度25℃での値です。※2 実効変換効率[JIS基準](%) = 最大出力を太陽電池セル・モジュール前面積と放射照度との積で除した値。<JIS C8961基準>※3セル変換効率[J-PEC基準](%) = JIS C8960において定められた実効変換効率を基に、モジュール化後のセル実効変換効率(厳密にセル実効変換効率)を式式にて算出するものとす。セル実効変換効率 = モジュール交差最大出力 / (太陽電池セルの合計面積 × 放射照度) ★太陽電池セルの合計面積 = 1セルの全面積 × 1モジュールのセル数 ★1セルの全面積には、セル内の非発電部を含む。ただし、薄層系、化合物系のセル全面積には集電部を含まない。

太陽電池モジュール仕様

型 名	WS-455MN-182H108
最大出力電力[Pmpp] (W)	455
公称開放電圧 [Voc] (V)	39.1
公称短路電流 [Isc] (A)	14.61
最大出力電圧 [Vmp] (V)	32.7
最大出力電流 [Impp] (A)	13.92
最大システム電圧 [V] (VDC)	1500
最大出力温度係数[Pmax]	-0.310%/°C
開放電圧温度係数[Voc]	-0.25%/°C
短絡電流温度係数[Isc]	+0.046%/°C
ヒューズ容量 [A]	30
セル(仕様/サイズ)	N型単結晶 108枚(6×9×2/182.2mm×91.875mm)
ジャンクションボックス	IP68規格
ケーブル	長さ1200mm、断面±4mm ²
表面ガラス	3.2mm、高透過率、ARC 強化ガラス
バックシート	耐候性フィルム
フレーム	アルマイト処理アルミニウム合金(ブラックフレーム)
外形寸法 (L×W×H)	1722×1134×30mm
質量	21.0±0.5 kg

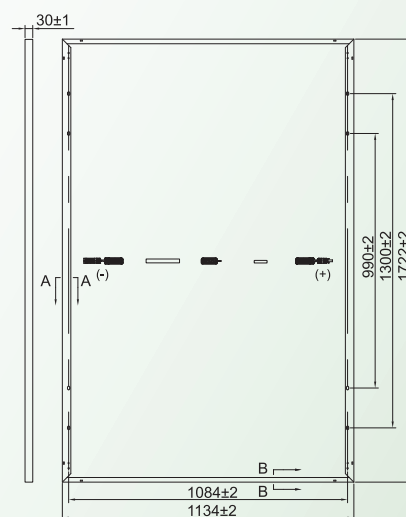
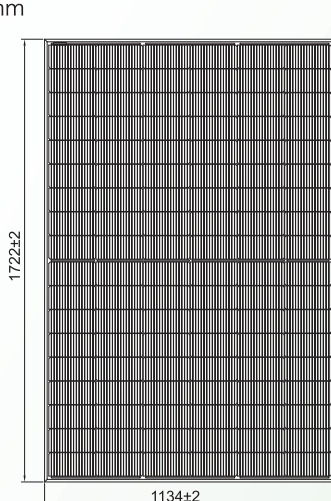
寸法図

単位:mm

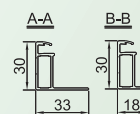
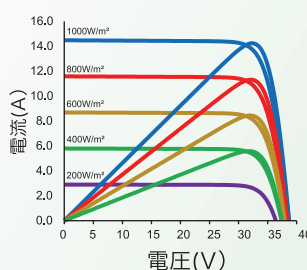
<表面>

<側面>

<裏面>



IV特性データ



新しい価値を創造し、社会貢献に努めてまいります。

WWB 株式会社

<https://wwb.jp/>

0120-365-821

※携帯電話からもご利用になれます。[受付時間] 平日(月~金) / 9:00~18:00

Abalance GROUP



★仕様は予告無く変更する場合がございますので、ご了承ください。